

2023/12/9開催 いけんひろば  
～闇金融（怖～い金貸し）を知ろう！～  
対面回 いけんのまとめ

1班（高校生世代4名）

【テーマ：リーフレット等（リーフレットとクイズ動画）のわかりやすさについて】

○それぞれのリーフレット等について、デザインは見やすかった・分かりやすかったですか。反対に、どのような部分が見つづかった・分かりにくかったですか。

<リーフレット全般について>

- 全体的に文字が多い。授業のプリントみたい。自分は授業が本当に好きじゃないので、「読みたくない」と思った。専門用語も多く、結局どこが重要だったのかが分からない。バイトをしておらず、親からお小遣いをもらっている自分にとっては、「闇金」というより「お金」に関するものがまず分からないので、専門用語が多くてどういうことか分からなかった。また、「個人間融資」という名称等がたくさん出てくるものの、実際の事例が分からないと思う。英単語も意味を知らないと使えないのと同じで、言葉だけ見てもどういう内容か分からない。文字よりもマンガなど絵で解説した方が分かりやすい。
- 文字が多いし、言葉が分かりづらくて難しい。「金融ブラック」と言われても何のことか分からない。
- 言葉を知っている前提で書かれており、知らない人が読んでも分からない。置いていかれている感じ。
- 自分たちはまだ金融機関からお金を借りられない年代なので、金融ブラックと聞いてもピンとこない。
- 友達との間で「先に払うから後でお金ちょうだい」と言って払うと、お金が戻ってくるまでに1カ月～2カ月位かかってしまうことがある。アプリで後から払ってもらったりすることもある。
- 「融資」という言葉も日常会話で使わないので、知らない人は知らないと思う。
- 「融資」という言葉は親子の会話で使うくらい。本当に大きな買い物や学校に関する買い物のときに「融資してくれない？」ということがある。

<「個人間融資に要注意！」（リーフレット）について>

- 「反復継続する意識を持って」が、ずっと入ってこない表現だった。
- 「貸金業法の規定に抵触する」という表現を見て、「意味は分かるけど難しい言葉は使わなくよくない？」と思った。意味は分かるが難しい。
- 「アウトです」「ダメです」のように、小学生でも分かるような表現にしてほしい。
- 難しすぎて暇な時間があっても読んでみようとならない。
- 学校に飾ったときに目をひくパンフレットだと嬉しい。今でも十分目は引くが、もっとド派手にしてほしい。
- 気は引くと思うが、実際には読まない。
- 高校生に知ってほしいなら、まずは話題に上らないといけない。インパクトがないと高校生は食いつかない。有名芸能人が「闇金って知ってる？」と言っていたらみんな見ると思う。芸能人とのコラボがいい。
- キャラクターや芸能人などの推しとコラボしていたら読むと思う。コラボしているものはコラボの対象に目が行っても、勝手に情報が入ってくるメリットがある。高校生の間では推し活が流行っている。
- 芸能人とのコラボがいい。
- 登録事業者以外から借りてはいけないのであれば、「登録事業者はどうやって確認するの？」ということが気になったので、その情報をリーフレットに入れておいて損はないと思う。

<「いわゆる後払い（ツケ払い）現金化に要注意！」（リーフレット）について>

<「いわゆる「先払い買取」現金化に要注意！」（リーフレット）について>

- 事例が理解できなかった。何が言いたいのか分からない。
- 何度読んでも理解できない。
- 書いてあることは分かるが、実感がない。
- 文字ばかりということもあるが、お金の内容をもっと深掘してほしい。「申込みして、お金を払う」ということしか分からない。札束のイラストを用意しておいて、借りるときは札束1つ、返す時には札束2つになっているなど、お金がどれくらい、どう動くかを書いてほしい。そうすればもっと分かりやすくなると思う。
- お金に困っている人が闇金に手を出してしまうので、お金にフォーカスしないと「じゃあよくない？」というふうになってしまう。「あなたがやっていることは損ですよ」ということを前面に出さないと、どうして良くないことなのか分からないと思う。
- 金融ブラックになる人は、借りられるところがなくて闇金融にすがっているだと思う。どこであればお金を借りられるのかを載せるのが良いと思う。
- 「危険性もあります」と書いてあるが、「ダメだよ」「止めたほうが良いよ」とまで書いてほしい。

<4コママンガについて>

- 字がないので読みやすかった。
- マンガだったら読もうと思う。
- マンガだと一目で何が起きたか分かりやすい。「そういうことか。危ないから止めておこう」となる。

○みなさんはおこづかい制ですか。

- 実費精算している。必要なものについてはレシートを渡して支給してもらう。
- 実費精算している。
- 必要な時にもらう。
- おこづかい制で、毎月もらっている。

○電子マネーは使っていますか。

- PayPay は使う。
- PayPay は使ったことない。LINE Pay と楽天 Pay は使ったことがある。
- デビットカードを使っていて、なくした時に利用を止めてもらえるのが良い。現金はなくなったらおしまい。
- Suica は大好き。スマートウォッチで使っている。使う金額だけチャージしておき、チャージ金額以上は買えないようにしている。
- 楽天 Pay、iDなどをスマートフォンに入れて使っている。Apple Payに入れてピッと使える。

## 【テーマ：闇金融の具体的な被害事例について】

○うんこクイズ動画を観てどう思いましたか。

- 動画を見るとなると、わざわざ検索してクリックしないといけない。YouTube のショート動画だと、スクロールすると勝手に動画が流れてくるのでいいと思う。他には、Instagram のリールや TikTok で流れてきたらいいと思う。高校生が自分から「見よう！」と思ってクリックすることはないと思う。
- 動画の前の広告として出てくるのであれば見ると思う。
- うんこクイズの対象年齢は多分小学生だと思う。
- 見ていて面白かったが、高校生にうんこ動画が刺さるかという微妙。動画を8本全部見て計2分は耐えられないと思う。
- うんこに変わるキャラクターとして、ちいかわが良いと思う。
- ちいかわはキャラクターが合っている。闇金にはまって「わア……あ……」となっていそう。
- ちいかわは闇が深いので、闇金のテーマに合うと思う。
- ちいかわは高校生にとっても刺さると思う。

○闇金融の被害に遭った、金融トラブルに巻き込まれた、といった話を身近で見聞きしたことはありますか。それはどのような内容でしたか。

- メールが実際に来たことがあるが、1千億円プレゼントというメールだった。ちょうど今も「懸賞企画に応募いただいた方へ600万円プレゼントのご案内」というメールが来て、URLをクリックすると個人情報を入力する画面に飛ぶ。
- メールは来ているかもしれないが、フィルターに引っかかっていると思う。
- 友達にジュースをおごってもらったら30倍にして返さなきゃいけないということがあった。
- バイトをしている子と遊びに行き行ってやりたいことに付き合うと1回で1カ月分のお小遣いを使い切ってしまうので、「バイトしたい」「親に借りたい」と思うことはある。お金に困る高校生は割に思うが、だからといって闇金に手を出す人は少ないと思う。ただ思い出を作るような時期にお金があればいいなど思うことはある。友達が「おごるよ」と言ってくれることもあるがおごられたいわけではない。闇金ももっと対象年齢層を下げきて高校生向けになったらまずい。闇金が進化しても対応できるように、こども・若者が闇金についてきちんと知っておかなくてはならない。

○闇金融について、もっと知りたいことはありますか。

- 高校生が被害にあった例があれば知りたい。
- お金に関しては考えがしっかりしている方だと思うが、ポイントはどのなんだろうと思う。例えば、バナーを押すだけで1ポイントもらえるとしてそれが闇ポイントだったとしても「お金じゃなくてポイントだから大丈夫か」と思ってしまう気がする。ポイントだとハードルが下がると思う。お金とポイントの違いが知りたい。

## 【テーマ：注意喚起の方法について】

○このような注意喚起の広告はどのような場所にあると目にとまりやすいと思いますか。（例えば、駅構内、電車内、学校内等）

○できるだけ多くの人の目に留まる方法として、何が効果的だと思いますか。

- バイト先で注意喚起をした方が良いと思う。学校はバイト禁止だが、生徒の6～7割はバイトをしている。自分も単発バイトを検討している。
- ATM のキャッシュカードを入れるところにカバーをかけておいて、「そのお金大丈夫ですか？」というフレーズとともに親世代の人のイラストが書いてあるメッセージが出せると、動作を止めるための最後の助け舟のような感じで何とかなるのではないかと思う。
- 今はインターネットでのやり取りが多い。年齢が上がるごとに、インターネット上のみでお金を使ってしまうので目に見えない。現金だと目に見えて減っているのが分かるし重みもあるので、現金でやりとりする方がいいと思う。自分も Suica にチャージした瞬間にどんどん使ってしまう。
- 学校で月の初めにチラシを配った方が、闇金はダメということが毎月知らされて頭に叩き込まれる。
- 学校でチラシをもらったら、それを見た親の方も対策してくれそう。親が「最近金遣い荒いけど大丈夫？」という声かけをしてくれそう。高校生自身が意識しなくても、親の意識が変わりそう。
- 学校でチラシを家に持ち帰ると、親に声掛けしてもらおうきっかけづくりになる。
- 高校生世代の政治・経済や公民など、授業でもっと闇金融のことを取り上げるべき。

○SNS（YouTube、X、Instagram）で配信をしておりますが、他に若者が目にしやすい方法や時間帯はありますか。

- 有名芸能人が「闇金ダメ」と PR するのがやっぱりいいと思う。話題になればメディアも取り上げてくれると思う。ちいかわが PR するのも良い。X のトレンドに上がれば、良い結果になるのではないか。「金融庁どうした！？」と思われるくらい、どよめきがあるコラボがいい。
- 企業運営アカウントで面白い発信をしているものがある。自治体アカウントでもゆるキャラが発信しているものがあり部活でも話題になった。日常感やホラー感もあって面白い。
- 自分は新聞部だが、若者に新聞は刺さらないと思う。金融庁には半沢直樹のイメージがあるので、出演した俳優を起用すると思う。金融庁と言えばあの人というイメージなので、闇金の広報にも活用してみてもよさそう。
- 高校生は真面目なものは見てくれないと思うので、はっちゃけないといけないと思う。まずは食いつかせないといけない。内容は二の次だと思う。ドカンと話題になれば、授業で「見たことある？」と話してくれると思う。話題性は大事。

2班（高校生世代2名・大学生世代2名）

【テーマ：リーフレット等（リーフレットとクイズ動画）のわかりやすさについて】

○それぞれのリーフレット等について、デザインは見やすかった・分かりやすかったですか。反対に、どのような部分が見つらなかった・分かりにくかったですか。

<「個人間融資に要注意！」（リーフレット）について>

- お金を貸す側にも注意喚起しているのが珍しい。借りる側は慎重になった方が良いので注意喚起することはあると思うが、貸す側にも注意喚起しているのが大事。このリーフレットは SNS で気楽にお金を貸して利子を得ようとしている人や、保証人になる人も対象になっているのだと思った。
- 個人間融資にあたるかと思うもので、サークル内でもお金の貸し借りをしている人がいる。メッセージアプリ上で、小さいお金の貸し借りでも貸した人の名前と貸した金額を書いて管理しているよう。貸し借りが終わったら消している。そうした取引も個人間融資に当てはまるのかなと思った。
- 個人間融資を SNS で見たことはないが、ニュースでは見た。「お金貸します」とは明記していないが、ハッシュタグをつけて暗号のようにやりとりしているイメージで、そのやり方が汚いと思う。
- 学校でも色々な相談窓口がカードで配られるが、見ないでゴミ箱に捨てられてしまうことが多い。リーフレットに記載されている相談窓口は、個人間融資でトラブルが発生したあとに電話する窓口になっている。個人間融資をネットで見つけたときに「こういうやり取りはしていいんですか」と聞けると良い。「相談窓口」と書いてあると堅苦しいので、気軽に電話できる言葉に変えた方がいいかもしれない。
- 利用しようとしている方向けに「個人間融資はいけなこと」と伝えるのは必要だけれど、いけないこと、悪質だと強調しすぎると「捕まるんじゃないか」「まだやる前なのに目をつけられてしまうんじゃないか」と思って相談しにくくなってしまうと思う。少ししか関わっていない段階でも、怖くて相談できなくなるかも。
- 今は、ホームページも個人で簡単につくれて、偽装もできる。顔写真や名義もネットで調べられるものから架空のものをつくれるので、闇金と消費者金融と見分けがつかないと思う。
- 友達は「今日何があった」という感覚で、お金がなかったら SNS ですぐにつぶやいている。その友達は SNS 上で闇金融関連の人につけこまれた。趣味の話から始まって、本当に自然な感じでお金がなければ貸そうか、という話をされたらしい。そのあと友達はお金のトラブルに巻き込まれたと SNS でつぶやいていた。むやみにお金のことを SNS でさらけだすとつけこまれるので気を付けないといけない。
- 周りに SNS をやっている人が少ないので闇金融を利用しそうな話という話は聞かない。けれど大学生は金欠なので関わる可能性はある。わざわざ金欠をつぶやくことはしないし、しない方がいい。
- 人によっては数分間隔で、授業中でも今の状況をつぶやく。その一環で今月お金がやばいなどとつぶやく人もいる。お金のことも含めてさらけだすとリスクがつかまとう。

<「いわゆる「先払い買取」現金化に要注意！」（リーフレット）について>

- あとで高額なキャンセル料を払わないといけなことをわかっている人が利用している手法だとわかった。

<4コママンガについて>

- 学校でリーフレットを配られても水に捨ててしまう。4コマのように字が少なくわかりやすい方が配られ

て最初に目を通すと思う。

- 「ブラック可」という言葉が出てくるが、金融機関のブラックリストに該当しているという意味か。その言葉がわからない。

<リーフレット全般について>

- どのリーフレットも伝えたいことが複雑。闇金融の事例も図式化されているが、図式化されていると具体性がなくて逆に難しいと感じる。自分は4コママンガの方が分かりやすいと思ったので、マンガ形式などでまとめて事例を出すことが大事だと思う。事例が可視化されているとわかりやすくなる。各リーフレット真ん中にある説明文は文字も小さく、注釈も多いので理解するのが難しい。
- リーフレットは全体的に字が多いので、たぶん読まない。各リーフレットに「注意」という文字が3か所くらい書かれているが、注意と書かなくても事例を書けば危ないことは伝わるので、文字を減らす意味でも「注意」という言葉はいらないかなと思う。「注意してください」より「こういうことはありませんでしたか」とか「見たことはありませんでしたか」のように問いかける方が自分ごととしてとらえられる。
- ブラックリストに載る人はクレジットカードを止められたりした結果、こういう闇金融の利用にたどりついていると思う。追い込まれた人が今回作成されたようなリーフレット等を見るかという分からない。
- 大学生はクレジットカードを止められて闇金融に手を出すというよりは、知識がないままに引っかかってしまう人の方が多いと思う。具体的にこんな様子で被害にあいますよと説明されている方がよい。「商品自体は送らない」等のやり取りが自分には異常でイメージがわからない。文字より、SNS の実際の画面を貼り付けて、こういう場面がありますと見せる方がわかってもらえる。

【テーマ：注意喚起の方法について】

○このような注意喚起の広告はどのような場所にあると目にとまりやすいと思いますか。（例えば、駅構内、電車内、学校内等）

○できるだけ多くの人々の目に留まる方法として、何が効果的だと思いますか。

- 学校で注意喚起のチラシが配られることはあるが、高校では1人1つデジタル端末を持っているので、ファイル共有ツールで資料が共有されることが多い。今回のリーフレットはデータでも紙でも見てもらえないと思う。リーフレット等の中に友達と話にできるような内容があればよい。例えば科学館の資料だったら「こういうイベントがあるらしいよ」というとっかかりがある。そうしたとっかかりがあると興味を持てる。
- 高校でいじめのリーフレットが配られることはある。注意と書いてあっても、関係ないかなと思ってしまう。具体例がわかりやすく書いてあったら、こういうことがあるんだと勉強になる。
- 大学だとリーフレット等が配られることはない。例えばメールでアルコールの注意喚起が来ることはあるが、メールを開かない人が多いと思う。マンガだと読んでみようと思う。

○SNS（YouTube、X、Instagram）で配信をしておりますが、他に若者が目にしやすい方法や時間帯はありますか。

- SNS の広告で注意されていれば、実際に貸し借りが起きる場なので闇金融の利用を踏みとどまる

人がいると思う。お金がないと言っている人に対しての広告として表示されるといい。

- 新聞の一面広告で闇金融の事例となる SNS の画面を大写しにしたらいいのではないか。広告でインパクトがあるのは、文字を少なく、画像を大きく貼り付ける方法。ただ、新聞はみんなが読むものではないので、SNSの方がより多く目に留まると思う。
- 文字がたくさん書いてある紙面からいきなり大きな広告のページになったら目を引く。電子媒体だと情報過多で流してしまふ。闇金融の広告が電子媒体にあったとしても、色々な広告が載っているのでスクロールする中でどれくらい目を止めてくれる人がいるのかは疑問。
- 電車通学のとき、学校の行き帰りで同じ車内アナウンスをしているので週に何回も聞く。そうした情報は印象に残る。
- 目についても何を言いたいかわからないとメッセージが弱まってしまう。闇金ではないが、都内の大型駅にパスワードに関する広告がずっと載っている。インパクトはあるが、何を言いたいかわからない。
- SNSだとスキップされてしまうこともあるが、広告として入れるのもいいと思う。
- 高校生は闇金融にあんまり関係がないと思う。大学生になると関係がありそうだが、大学生にはホームルームがないのであまり注意する機会がない。
- 大学生はメールしか見ないと思う。それ以外に連絡手段がない。
- ○○教室のようなものを開催しても行く人はほとんどいない。いっそ大学 1 年の教養の授業の中でトラブルにつながるようなアルコールや金融などの授業を設けて、1 学期に絶対に学ばないといけない必修というようにすれば、全員が学んで、意識変わる機会にはなると思う。1 年生のときはみんな期間を持っているので響く人は多いと思う。
- 大学のオリエンテーションではこういうトラブルに関する注意はなかった。トラブル全般の注意はメールでの連絡があったので見ない人が多かったと思う。
- 大学の入学式の時にお酒とドラッグ、お金のことについて 10 分くらいの注意はあった。その話は、「そういうのをやると学校退学になることもあるから辞めましょう」という内容だった。具体的な内容がどうというよりは、「何かあったら退学だよ」と言われた。
- 誰かが辞めさせられたとか、誰かがトラブルにあったとかいう話を聞くと気を付けようという気持ちになる。例えばテストで生成 AI を使ってしまったて退学処分になった人がいるという連絡があったときは学内で話題になった。本当にやらかした人がいるとみんな気を付ける。

#### ○動画（新成人向けうんこクイズ）について

- 15 秒動画なので何本も見ってしまうかも。クイズ動画が何度も流れたら人と話をするにはあると思う。
- SNS でもショート動画の方が見る。闇金融の動画をわざわざ調べてみることはないし、調べ方も分からない。ショート動画だとランダムに登場するので、流れてきたら見てしまうと思う。
- ショート動画だったら流れてくるから見ると思う。
- ショート動画は短い面白いから見る。1 回見始めると、気がついたら 1 時間以上見ていることもある。電車を待っているときに見ることもある。興味なかったらスクロールもする。
- 内容は分かりやすかったし、印象にも残る。

- ショート動画でもよく見るのは Instagram のリール。リールは色々な動画が流れてくる。
- リーフレットにうんこクイズが貼られていたら、今の文字が多いリーフレットよりはわかりやすいし、学校にポスターとして貼ってあったら目につきやすい。
- 同じ意見である。文字が多い紙媒体の広告よりわかりやすいと思う。
- 15 秒の中で画面がカラフルなので、わっと情報が同時に入ってくる。ただ、意外と重要な情報が入ってこない。15 秒の間にどれだけ理解できるかというのが肝。音声の方が情報が残りやすい。チラシだと音声で情報が入ることはないので、ショート動画で情報を流す方がひっかかって耳に残ると思う。
- クイズ動画は 8 種類もあるが、最後に流れる音声は「成人したら未成年を理由に契約の取り消しはできなくなる」ですべての動画で同じになっている。けれど、実際には文字で 1 つ 1 つ違うトラブルに触れており、「クーリングオフ」などまったく別の情報が表示されているが入ってこない。文字と音声が同じことを言っていたらすぐ強調されるが、文字と音声で別の情報だとどちらも印象に残らなくなる。
- SNS はあったら見てしまうので、アプリから消している。コロナ禍の間、ずっと SNS を見ていて一日がすぐ終わるのでやばいなと思って消した。見るとしたら LINE の TOP ページの広告。LINE は連絡手段なのでアカウントを消すことはどうしてもできない。だからここに流れてきたら目に入ると思う。
- ドラマが好きなのでテレビ番組の配信サイトは見る。配信サイトの広告は飛ばせないし、ドラマは何本かあるので広告を見るしかない。
- SNS では自分の好きなアカウントの動画しか見ない。
- SNS では TikTok は関心がなくてアカウントを取ったこともない。Instagram は連絡手段として必要なのでスマホには入れていないが PC で見ている。DM（ダイレクトメッセージ）を見るついでにリールを見ることはある。YouTube は結構見るので、広告も見ている。
- 注意喚起する動画は広告で出さないと目につかないと思う。あとは人気の動画配信者にコラボレーションしてもらえれば、ついでで注意喚起の動画も見てもらえるかもしれない。
- 若い人に人気の動画配信者など、みんなの目に留まる人を使うといいのではないか。
- 以前はドラマで闇金融が扱われていて印象に残っていた。最近 SNS でパチンコにはまった人の末路の動画を見た。その動画の配信者はチャンネル登録が 50 万人を超えていた。
- SNS の投稿の「まとめ」で実際にあった事例があれば、まとめをみんな見ると思う。みんなが見て自分も気を付けようと思ってくれると思う。
- 自分は SNS を断っているのに、見るとしたら LINE や電車の広告。ほとんどの人は SNS を使っているので、スクロールしてぱっと目につくように闇金融の事例を紹介すると見る。何となく目に入りやすい内容であれば、理解しようという気持ちになるのかなと思う。

#### 【テーマ：闇金融の具体的な被害事例について】

○闇金融の被害に遭った、金融トラブルに巻き込まれた、といった話を身近で見聞きしたことはありますか。それはどのような内容でしたか。

- ゲームで 20 万円くらい借金した人は知っている。どうなったかは知らない。
- 引っかけやすい人は監視の目がない人だと思う。大学に行かずに上京して、学校からも親からも監



視の目がなく、退学させられるという心配もないと引っかけやすいかもしれない。

- 大学から入学と同時に資料が送られるが、その資料の中に闇金融に関する資料も入っていると読むと思う。入学手続きは親と慎重に行うので、そのときに入っていたらしっかり読むと思う。
- 大学生になると行動範囲が広がると思うので、お金のトラブルは起こりえる。高校生のうちから金融トラブルのことは知っておく必要がある。
- 高校は旧課程だったが、家庭科では金融のことは習わなかったし、受ける意欲が高くない授業だった。教育課程に金融があれば、単位を取るために勉強すると思うので、教育課程に入っているのは大事。
- 新課程で授業を受けているが、投資信託や株については授業を受けている。消費者センターの連絡先も勉強した。闇金融については勉強したことがない。気を付けた方がいいことも学んでいない。

○全体を通じて感じたことは何ですか。

- 高校生から大学生になるときに、大学から案内で通知したらけっこうゆるっと理解してくれると思う。大学生になった瞬間に金銭的に自立する人は少ないので、お金に関して自立しなければならない、という意識を高校生から大学生になるときに持ってもらうのが大事だと思った。先払い買取などの具体的な事例は知らないことばかりだったので、大学に入るタイミングで教えてもらっていたら良かった。高校から大学になるタイミングでの注意喚起は大切だと思った。
- 紹介してもらった闇金融はどれも発端が SNS だと思う。小中学生のときに SNS の使い方の注意を受けたが、改めて高校卒業の時に SNS の使い方の注意を受けた方が良いなと思った。
- お金がトラブルのもとになることが多いと感じた。仲良かったけど個人間融資を通じて仲が悪くなったりとか、大学生になるとマルチ商法に巻き込まれる人もいると思うので、しっかり注意していかないとけないなと思った。注意を促す資料が充実していけば、対策も取れると思う。

### 3班（大学生世代2名・社会人2名）

#### 【テーマ：闇金融の具体的な被害事例について】

○闇金融と聞いて思い浮かべるものは何ですか。

- 悪循環。
- 口座売りや口座凍結。
- 家に押しかけ。
- リボ払い。
- 高額な金利。
- 電柱などいたるところに即日融資の広告と電話番号紙が貼ってある。
- 闇金融業者として、個人でもやっている人もいるし、小グループでもやっている人もいる。友達や先輩がやっていて巻き込まれるということもあれば、外国人でやっている人たちもいる。
- 連帯保証人として家族が巻き込まれる。
- 闇金業者が捨て番号を使って、一回かけたけどもうその番号にはかからない、というイメージ。今はSNSが主流だと思うが、少し前だと捨て番号が使われていたと思う。若い人はSNSを使うが、年配の人だと今でも電話を使う。
- 急いでかけ直したけどもうつながらない、という話をよく聞く。
- つけ払いというと、居酒屋などでまとめて支払うというイメージがある。
- ホストでのつけ払いがある。払うために体を売るという話を聞く。
- 最近ホストでの売掛の禁止が話題になっている。その場で払えずに借金が増えていって、闇金融を利用するか、体を売るかを迫られるというもの。
- 法律の抜け道・抜け穴が実際問題としてあると思っている。業者登録をしているが、実は裏で闇金融にもつながっていて、払えないから闇金融に流れるというケースはありそう。

○闇金融の被害に遭った、金融トラブルに巻き込まれた、といった話を身近で見聞きしたことはありますか。それはどのような内容でしたか。

- 被害があることは知っているが、金融庁が何をしているか、対策として何があるかは知らない。
- 自分は被害に遭っている人も少し知っている。その人はバーでぼったくりに遭い、払えないとなり、「じゃあ貸してあげる」と言われたらしい。請求された金額も法外だし、貸し付けるときの利子も法外。お金を借りるために免許証やマイナンバーカードの写真など、個人情報もとられてしまうとのこと。
- 闇金融はドラマみたいな激しい取り立てをされるイメージがある。イメージが先行している。
- 本当に激しい取り立ての事例があるかを調べたとき、消費者金融などちゃんとした貸付機関では、段階をおって書類が来て、最終的に法的手続きに移行するため、そういった激しい取り立てはないと見た。
- 闇金について調べたときに印象に残ったのが、専業主婦をやっているお金が必要になった人をターゲットにする闇金がいるというもの。「（闇金でお金を借りたことを）旦那さんに言うよ」と言うだけで、激しい取り立てをしなくても十分脅迫になる。
- 人が移動して直接取り立てをするのは闇金業者にとってリスクになるので、文書などで取り立てをする

と聞いたことがある。法外な利子なので、10 人貸して 5 人から返ってくればよく、借りた人全員から取り立てる気はないらしい。

- 借りた人全員から取り立てなくても、一部の人から貸した金と金利を取り立てるだけでトータルとしてはプラスになるほど、高いお金を取り立てているということ。
- 買い物依存などの人、それこそ専業主婦など、自分で稼ぐ力がない人を狙うと聞いたことがある。
- お金の使い方を教わってこなかった人や、逆に、家が裕福でお金がありすぎるため使い道を真剣に考えなくてもいい家で育て、その家から離れたときに、それほどお金を使っていない感覚で、使いすぎることもあるという人が、闇金に手を出してしまうのだと思う。お金の使い道や家計簿のつけ方を知らないで、本当にお金がない状況になるまでお金のやりくりができるように手を打てない。
- ソーシャルゲームに課金しすぎたことがある。バイトで稼いだお金がまあまああり、ガチャに手を出して口座残高が 0 円になったところで正気に戻った。さらに課金に向けた何か一押しがあれば、そこから闇金にも手を出したかもしれないという自覚がある。
- ソーシャルゲームやホストなど、何かのにめりこんでいる間は、お金がなくなっている事実のことをあまり大事だと思えないのだろうか。
- ソーシャルゲームへの課金は口座残高がなくなったためストップがかかったが、クレジットカードを利用していたら、マイナスになるまで使っていたかもしれない。お金を消費している感覚がなく、目の前にあるガチャのことしか考えていなかった。
- お金を使うことが快感につながり、依存になる面もあるかもしれない。
- お金を使いたい気分になることは誰でもあると思う。自分はそういうとき 100 円均一や駄菓子屋さんに爆買いする。
- 特にバイトはじめや社会人 1 年目などで一気にお金が入って使える額が増えたとき、使いすぎてしまうことはよくあると思う。使いすぎた結果マイナスになることはありそう。起業する人は、銀行にお金を借りるために審査がいる。審査は厳しいので、ハードルの低い闇金から借りてしまうのかもしれない。
- 家出のような形で上京した友人がいて、知り合いの家を泊まり歩いているうちに、「しばらく家に泊めてあげるからお金貸して」と言われたことがあると聞いた。相当多額を貸してほしいと言われていたらしく、貸してしまったそう。行くところがない、親に頼れないなど、追い詰められて孤独になっているときに、解決してあげるからお金を貸してほしい、と言われる事例もあるようだ。他人事ではないなと思った。
- 住所不定の人は消費者金融では借りられないので、闇金に行きつくと見たことがある。
- 自分は、ウェブマネーというコンビニで払って課金する仕組みを使っていた。現金がないと課金できないという制限があることがストッパーになっていた。
- お金を使いすぎると、クレジットカード会社から「本当に自分で使いましたか」と電話がかかってくる。
- クレジットカードは上限も自分である程度設定できる。
- 実家に頼れない人でも頼れる先は存在しているはずなのに、その頼れる先についての情報がないことが問題。相談できる機関への情報にアクセスできることが大事だと思う。また、自分がやっている対策として、どうしてもクレジットカードを使わなければシステム上決済できないとき以外は、デビットカードなどで即時引き落とされるようにしている。クレジットカードも、スマホのカレンダーアプリに「この日にこの額

を引き落とし」とメモをして対策している。

- 社会人になって収入が増えたが、クレジットカードの上限金額は学生のときのままだにしている。大きくお金を使う機会はあまりないが、念のためその設定にしている。

### 【テーマ：リーフレット等（リーフレットとクイズ動画）のわかりやすさについて】

○それぞれのリーフレット等について、デザインは見やすかった・分かりやすかったですか。反対に、どのような部分が見づらかった・分かりにくかったですか。

<リーフレット全般について>

- 全体的にすごく読みづらい。
- 文章量が多いわりに、内容が薄いと思う。
- SNS で公開しているが、それだと見ないかもしれない。A4 サイズのリーフレットでも見づらいのに、スマホだとなおさら見づらいと思う。
- 色やフォントなど、ユニバーサルデザインに配慮できていない。私は正常な視力で色覚も正常な中でこれだけ見づらになると、やはり配慮が足りないと思う。
- 弱視だとこのリーフレットを見ても絶対分からないだろうと思う。彼女はスマホのフォントサイズも大きくなるよう設定しているし、PC 画面も拡大鏡で見ている。そういう方には絶対見えない。
- ユニバーサルデザインについて、視力以外にも、知的な問題にも配慮すべきだと思う。例えばホストなどで簡単につけ払いにしてしまう人が、発達障害や知的障害、学習障害をもっている可能性もある。そのような人たちは犯罪に遭いやすい側面があると思う。リーフレットを読んで「個人間融資」の意味が理解できなければ、意味がないと思う。また、「貸金業の規定に抵触」の「抵触」という単語も、「どういう意味だろう」と思う人が多いと思う。「違反する」や「法律に触れている」など、より多くの人を理解しやすい表現に言い換えた方が親切だと思う。
- 総じて、見る側の使うエネルギーが高い。作るのも大変だったはずなので、労力を落としてシンプルなリーフレットにしていいたいと思う。
- 読む人のペルソナを作りこむのが大事だと思う。知的能力が平均に比べて低い方だけが犯罪に遭いやすいわけでもないので、何種類かつくれるなら、対象ごとにつくるのがいいのではないかな。
- ユニバーサルデザインは、障害がある人にもないひとにもやさしいもの。文章の言い方の話もそうで、普通の人にとっても、分かりやすい表現のほうが読みやすいので、簡易な文章にするデメリットはないと思う。「後払い、つけ払い」のリーフレットなどは注釈が多い。国の方が作ったポスターだから、穴のないように詳細につくらなければいけないという事情はわかるが、場所を圧迫している。
- 簡単なメッセージにすれば伝わると思う。今は正確にしようと思って情報を詰め込んでいる。
- 「〇〇はこちら」と二次元バーコードを載せるだけで、パターンに応じて URL に飛べると思う。リーフレットを見ただけで分からない情報もたくさんある。自分で知りたい情報を取りに行ったほうが理解できる。
- 相談窓口がたくさんあり、自分が悩んでいる問題の相談先がどれか分からない。専門的なところにつなげることが大事なので、SNS の投稿を見ただけで解決してほしいというのは無理だと思う。
- リーフレットを作って注意喚起はしたので、あとは見た人任せ、としている印象がある。「国は対策して

います。情報は与えているから、見た人が自分で解決してください。」という感じがするので、もう少し寄り添ってほしい。

<「個人間融資に要注意！」（リーフレット）について>

- 3枚に分けたほうがいいと思う。具体的に何に要注意なのか、相談窓口、細かい規定の3枚構成にする必要がある。自分が上司に提出したら突き返されると思う。
- 被害者に関する情報だけ載っているが、貸したい人向けの情報・事例がない。違反したら罰金があると書いてあるだけで、貸金をやりたいときはどうすればいいかのという情報がなく、不親切だと思う。
- 紺や紫、黒ベースで、注意事項は赤になっている。色が多すぎて、目がちかちかしてその時点で読みたくなってしまう。

<「いわゆる「先払い買取」現金化に 要注意！」（リーフレット）について>

- 読んでもよく意味がわからなかった。事例がよく分からない。
- 小さい文字が明朝体で、大きい文字はゴシックになっているのはなぜか。小さい文字のほうが重要な情報なのに、見づらい明朝体を使っている。丸ゴシックなどのほうが読みやすい。
- 下線も、普通下線と波線が混在している。
- 小さい文字だと、普通下線と波線の違いもわからない。

<4コママンガ「個人融資に手を出すと個人情報晒される」について>

- マンガを読んでもどうしてトラブルになっているのかが分からない。
- 3・4コマ目はいいが、1・2コマ目にもう少し情報を増やしてほしい。どういことをしたからお金がないのか、という描写などがあるといい。
- 服装・髪型が全部違うので、違う人に見える。登場人物を統一させてほしい。
- 4コマに収めようとすぎて、コマ間の因果関係を読む側ががんばって想像しなければいけなくなっている。3コマ目のデザインが特にわからない。雨が降っていることなどの意図が分からない。
- 4コママンガは少ないコマ数で伝える必要がある。状況説明や、背景で雨が降っていることも含めて、どこまでが本当に必要な情報なのか考える必要がある。一方で足りていない情報もある。
- マンガをつくるプロに委託した方が自然なマンガになると思う。

<4コママンガ「ひととき融資にご注意」について>

- SNS 上では「ひととき融資にご注意」をテキストとしては投稿していなかった。そこが一番大切なので強調した方がよいと思う。どこが一番大事なのが分からない投稿になっている。
- 自分ごとに捉えられる表現にしてほしい。
- マンガの下に「なのでひととき融資に注意してください」と載せる順序で示したほうがよいと思った。最後に注意喚起と相談先を載せるとよいと思う。
- 最初に「ひととき融資」と書かれてもピンとこないの、マンガを読んだ後に「こういった事例がひととき融

資です」と改めて分かるようにした方が良いと思う。

#### <うんこドリル動画について>

- 問題を出した後、3・2・1 と答えが出るまでのカウントダウンが短くて考える時間がない。10 秒くらい考える時間があつたほうがいいのかもしい。
- 今の人には飛ばしてみる人も多いので、最初の 3 秒くらいで飛ばされてしまうかもしれない。
- 「どちらもとても危険」という結論の動画があつたが、雑な結論だと思った。
- クーリングオフの動画で「水に流す」という表現は危険だと思った。正式な手続きを踏む必要があるのに、責任逃れできるようなニュアンスを感じてしまう。言葉の使い方として合っているのだろうか。
- 動画が早すぎて、日本語の使い方について意識がいつの間にか流れてしまった。
- 動画の最初に流れる「うんこ博士じゃ」というフレーズはいらないかもしれない。キャラクターを出すということと、16 秒しかないという制限がミスマッチだと思う。
- 自分は世代じゃないからわからないがうんこドリルを使っていた世代が 18 歳になったときには目に入りやすいのかなと思う。
- 謎かけ自体は「どんな答えなんだろう」と思うので面白い。
- 親しみやすさはあると思う。
- うんこ博士だけでなく、別のインフルエンサーともコラボするのいいと思う。
- 次作るときには、もう少し長くしてもいいかもしれない。20 秒くらいにして、もうすこしテンポゆっくりでもいいかもしれない。
- こういう動画は成人式で流れたりするのだろうか。普通に生活していたら、わざわざ動画を見に行くことはあまりないと思う。
- ショート動画として流れるのか。広告として政府広報がたまに流れるが、そういったところで流れるのか。
- 掲載先として、TV、YouTube、X、電車のモニター広告などが選択肢としてありうる。電車広告だと無音にはなってしまうが、流す場所としてはいいかもしれない。
- 田舎だと電車の中にモニターはない。東京にきて初めて見たので、都心と田舎で情報格差が生まれてしまう。田舎だとテレビ放送がいいかもしれない。警察庁からのお知らせなどがテレビ放送で流れるため、金融庁からも流していいかもしれない。
- 電車広告は予算的に難しいのではないかな。
- SNS など、コストのかからない方法での発信を想定しているのかもしれない。
- コストのかからない場で言うと、文部科学省と協力して学校の指導要領に入れることも考えられる。

#### 【テーマ：注意喚起の方法について】

○もうすぐ成人になる高校 2 年生全員に、紙でリーフレットを配布することについて、どう思いますか。

- 紙で配布されても見ないと思う。
- 学校でタブレットを配布している。動画としてではなく GIF のような簡単なパラパラマンガにして、軽い感じで見せられるといいのではないかな。

- クイズにして、「ヒントはこの URL に飛んでください」とし、全問正解すると飲み物 1 本など、何かもらえるとするといいかもしれない。そこまで予算もかからないと思う。クイズはみれば考えるし、ヒントがあれば見にいきたくなる。目的は景品だが印象に残る。10 問あったうちの 1 問でも記憶に残ればいい。
- 以前、全問正解するとお菓子をもらえるようなキャンペーンをどこかで見たことがある。
- その結果クラスメイトの間などで「問題の答え何だろうね」と話題に上がれば大勝利。
- LINE や X でも流せる。
- 紙でリーフレット配布ではなく、文部科学省から「学校の掲示板に貼る」ことを依頼すると良いと思う。
- 大学や高校の就学支援金や奨学金の書類が置いてあるような場所には、お金のことを考えないといけないという意識がある人が来るので、そこにリーフレットを置けば良いと思う。
- かけだしのマンガ家や動画を配信しているインフルエンサーからリーフレットや動画を公募するのはどうか。コストは低いし、応募する側からすると国というブランドがある事業に関われるメリットもある。色々な動画やリーフレットが出来て、そのうちどれがいいかを国民に投げかけて決めてもらうことが出来る。採用された人にはリワードを設ける。
- 採用された人の名前を出すようにすれば動機付けになる。
- 卒業後何年も経っている人より、金融教育の現場を理解している人の意見を聞いた方が正しい情報が入ると思う。現場の意見を聞いた方が見てもらえるコンテンツを作れると思う。
- 中学では金融教育をやっていない。
- キャッシュレス化がすすみ、現金が身近でない子どもが増えている。おつかいしても現金の細かいやりとりが分からない子どもも増えていると聞く。それはお金の価値の感覚が鈍ることにもつながりうるので、初期の段階からの金融教育は大切だと思う。
- 成人年齢が 18 歳に引き下がった時に、18 歳になって出来ること・出来ないことというテーマで、高校からは資産運用などの教育がされていると聞いた。
- 20 代だとまだ金融教育を受けていない世代なので、知らないことは恥ずかしいことではないはずなのに、知らずに何か犯罪に巻き込まれることもある。故意でなく貸す側として抵触してしまうこともあると思う。トラブルになったことが悪、被害に遭う方が悪い、と無知であることを責められないようにしたい。大人になっている世代への教育も大切。

○ SNS (YouTube、X、Instagram) で配信をしておりますが、他に若者が目にしやすい方法や時間帯はありますか。

- 春休みなどの長期休暇は学生が目にしやすい。社会人になるとお盆休みや年末年始などしか SNS をゆっくり眺める時間はない気がする。発信のタイミングは大事だと思う。
- 社会人向けには昼の 15・16 時などの微妙な時間よりも、退勤時間頃に発信するのがいいと思う。
- どのような時間帯がいいかは、今日のいけんひろば参加者以外にも、ターゲットとする人に広くアンケートなどで聞くのがいいと思う。
- 夜の仕事をしている人たちは、昼頃は寝ていると思う。夕方頃などに発信するのが良いと思う。

○できるだけ多くの人の目に留まる方法として、何が効果的だと思いますか。

- 二次元バーコードで誘導する方法がいいと思う。
- 言葉のテクニカルな部分として、「ねえ」や「おい」など、読者に話しかけるような接頭語をつけるのは1つの方法だと思う。
- 「終わりの始まりですよ」「あなた破滅しますよ」という方向性で発信するのがいいと思う。「可能性がある」ではなく、「このようなことをすると捕まります」「借金地獄に陥ります」と明言する表現でいい。
- 正規の貸金業者はグレーゾーンな言葉は使わないはずで、悪意があるからギリギリな表現を使うのだと思う。オレオレ詐欺の注意喚起などは、お年寄りがターゲットであることもあり、「これは詐欺です」と大きな文字でシンプルに書かれている。若い人向けなので、簡素化した注意喚起が大事だと思う。
- 断定調にすると、捕まらない場合もある、と国が責められてしまうので難しいのだろうと思う。最後に「注意喚起の目的です」と書くのも一案だと思う。
- 「先払い買取」のリーフレットの事例が理解しにくい。主語がないので視点が分かりにくいし、文章が難しく解釈しにくい。ストーリー性もあるのでマンガにしてほしい。
- 過去にこんな人がいました、と紹介する形にするのがいいのではないかな。
- X に画像を複数掲載すると全部は表示されないの、ツリー投稿にするか、あるいはスライド式で複数枚を見れる Instagram に投稿するかと思う。
- SNS の機能に応じて、投稿のしかたも工夫してほしい。Instagram も、何を 1 枚目の画像にするのかなどが大事。1 枚ずつ投稿して、プロフィールに飛んだ時にすべてが見れるようにすることもできる。色々工夫の余地がある。
- 「〇〇万円の借金をしました、手口は～です」などのトラブル事例は、見たがる人が多い気がする。
- 官公庁で、広報をまとめて担当するクリエイティブ担当部署などができたらいいと思う。
- 大臣など、堅いイメージのある人物をあえて起用して親しみやすいショート動画をつくり、そこから飛んでもらってフル動画につなげればいいのではないかな。
- ただ、全く知らない人よりも、若者でもある程度知っている人を起用する方が効果的だと思う。

いけんひろば後のアンケートでお書きいただいた意見

- 誰でもお金が足りなくなることはあると思うから、そういう時こそ落ち着いて、よく考えていきたい。

以上